

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)

【斉藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上103-36

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

# ほっとらいん

人に、まちに、いま、 VOL. 93  
元気の種をまこう。



## 明治維新から日本ではなくなった

今年、戊辰戦争、明治元年(1868年)から150年。

明治五十年を祝ったのが寺内正毅、明治百年は佐藤栄作、明治百五十年は安倍信三、いずれも長州政権です。

明治維新以降は「薩長の世」で、それが、今も引き継がれており、長州・薩摩の書いた歴史(官軍教育)を学んでいます。必然、明治礼賛の記念行事が開催されています。

福井県も幕末、明治に活躍した偉人展など開催していますが、昨年、事業予算が計上された時、「明治維新とは何だったのか」、「活躍した人は立派な人なのか」、「近代日本の夜明け」として無条件に美化され、絶賛するような「勝てば官軍の歴史」、薩長史観ではなく、しっかりと、明治維新全体を検証すべき内容とするよう求めました。

▼国際政治のリアリズムは「戦争」と「カネ」を中心に観察することで非常によく見えてきます。国際政治は冷徹です。思想や信条、正義は大事なものとはいえ、それらはリアリズムの視点からすれば、「一要素」にすぎません。

戦争するには、武器が必要です。武器を買うには、お金が必要です。

薩長の下級武士がなぜ徳川幕府を倒せたのか、必要な武器は誰が用意したのか、日清、日露戦争に必要なお金は誰が出したのか、なぜ、太平洋戦争に突入し、敗北したのか。

江戸時代260年、対外戦争は勿論、国内においても一切戦というものを許さなかった。

明治維新から戦争を繰り返し、わずか77年で国を滅ぼしました。日清、日露戦争は、イギリスの自衛のために日本が利用されたのであり、日英同盟があったから日露戦争に勝ったのではなく、日英同盟があったから日露戦争をやらされた。



その後、アメリカのオレンジ計画によって、太平洋戦争を仕掛けられ、計画通り、敗北し、アメリカに占領・支配され、属国として今日がある。すべては、明治薩長政権に起因している。

▼「日本人は、自分たちの過去に歴史を恥じている。また、日本には歴史なんかありません、これ

から始まるのです。という」、ヨーロッパ人が驚くほど日本人が日本的なるものを根拠から否定し、自らを卑下したのである。

江戸時代までの日本を全否定し、ひたすら「脱亜入欧」に走ったのが「明治維新」でした。象徴的なものに「廃仏毀釈」があります。

▼大和民族は、それまで千年以上にわたって「神仏習合」という形で穏やかな宗教秩序を維持してきました。平たくいえば、神社には仏様も祀って別け隔てなく敬ってきたのです。これを、明治政府は神仏分離令で、神社とお寺を明確にするように命令する一方、国家神道を唯一の国の宗教に神道国教化を進めるために、全国的に神職を宣教師として任命しました。

神仏分離令が布告されると、それはただちに廃仏毀釈(仏を破壊し、釈迦の教えを壊す)の行動へと発展します。これによって、日本全国で奈良朝以来の夥しい数の貴重な佛像、仏具、寺院が破壊され、僧侶は厳しい弾圧を受け、還俗を強制されたりしました。

ひと言でいえば、長州・薩摩という新権力による千年以上の永きにわたって創り上げられた固有の伝統文化の破壊活動で、現代のイスラム原理主義勢力・タリバンや「イスラム国」のようなものです。

▼薩長明治政府は、八百万の神の多神教、多元的な日本歴史を神道国教・祭礼一致とする西洋のキリスト教のような一神教に変えようとしたのです。また、天皇は統治権を持ち、「現人神」として崇拜され、軍部に「統帥権」独立が保証され、誰も軍部に口をはさむことができなかった。

『戦前・戦中の』大日本帝国憲法下の天皇の在り方と、日本国憲法下の天皇の在り方を比べれば、日本国憲法下の天皇の在り方が、天皇の長い歴史で見た場合、伝統的天皇の在り方に沿うものと思えます。』

今上天皇ご自身がかわれるように、日本の長い3700年の歴史の中では、645年から858年の213年間だけ統治者であった以外は、天皇崇拜や天皇権力はなく、GHQに象徴天皇と憲法に書かれなくとも明治までは、神々と架け橋であられる天子様でした。1868年(明治元年)、突如、天

皇は最高権力者としてのエンペラーとなり、1945年(敗戦)まで、その地位にありました。水戸学、国学の影響を利用して、薩長人が現人神の天皇をまつりあげ、これを操る最高権力者となっていました。天皇の歴史には、兄弟殺しや、相継争いがあったり、笑い転げるような話もあります。「教育勅語」は、そうした日本の天皇の歴史を無視したものですが、生徒は先生に事あるごとに「教育勅語」で天皇崇拜の思想が注ぎ込まれる一方、徴兵によって、軍隊では、徹底して天皇崇拜を叩き込まれ、服従がを強要されました。薩長は、幕府と一心同体の孝明天皇が邪魔で、暗殺し、幼い天皇を「玉」として利用し、天皇の名をほしいままに、ニセの倒幕指令や錦の御旗をもって必要のない国内戦争(戊辰戦争)を起し勝利しました。その尊王の欠片もない薩長が、そのまま天皇の名の下にアジア侵略、大東亜戦争へと突入していきます。

▼「尊王攘夷」をふりかざすテロリスト集団に邪魔されることなく、そのまま、幕末に開国した賢明な江戸幕府の開明派によって、日本が進んでいたなら：上野介が初代首相であったなら：根無し草でグローバル化で消えていくような国にはなっていないのではないか。歴史にイフ(もしも)はないが。(次号につづく)



# 福井の齊藤です。

## 自由民主党 全国幹事長会議

自民党大会の前日、全国幹事長会議が開催される。

党本部からの報告や要請などを受けて、「発言のある方は挙手願います。」という司会の声に、瞬時に、「福井」と言って毎回私は手を挙げる。

質疑応答の時間が一時間半程度しかないこともあるが、昨今、小選挙区の影響か、国会議員間での自由闊達な議論が少なく、相互批判・検証が不十分なので、積極的に地方の声を伝えたいと思うからである。

マイクがきたら「福井の齊藤です」と言って発言する。

▼福井県連 齊藤新緑幹事長

37年ぶりの豪雪被害にあり、全国の皆さんに大変な心配をお掛けしご支援を賜ったこと、あるいは関係機関にご協力頂いたことに

厚く御礼申し上げます。

しかし、豪雪が夏に雪が降ったわけではなく、降るべき冬に降った雪が例年以上に多かったというだけで、雪害危機管理の範疇ははずだ。

しかし、国道8号線で3日間 にわたって1500台の車両が立ち往生するという状況になった。

4車線の高速道路を止めれば、下道の国道8号線に車が流れてくる。これまでも、場所は違えど同様のことが繰り返されている。

また、国道8号線は2車線しかないところもあり、福井県は非常に整備が遅れており、25年間要求していても未だ4車線にならない。

貴重な若い命が奪われた。

憲法改正議論にある「緊急事態」以前に、最も当たり前の雪害対策についてはきっちり

とした対応をお願いしたい。

もう一点はグローバル化への対応ということについて、お聞きしたい。

私どものような田舎の県としてはどうやって農業を守ってやっていこうかということであるが、いきなり先般も種子法が廃止になった。

まったくわれわれは聞き及んでいない。福井では地元のおいしい米「いちほまれ」を開発しているところであるが、種子法が改正でなく廃止になってしまっ、日本が持つていなければならない種を民間に開放するということになり、非常に危機感を感じている。



外務大臣接見室、河野大臣

グローバル化の流れというのは、規制改革推進会議などであまり農業とは関係ない人から出て

きて「儲かる農業」などというが、「誰が儲かる農業なのか」ということを改めて私どもは非常に心配している。

グローバル化の流れは教育問題などもそうだが、小学校低学年で日本語もまともではない人間にどんどん英語を教えて、英語が単なるツールだというのが、実はこれは文化であり、道徳を小学校から教科化して教えるということに対して、英語を小学校から教えるということは非常に矛盾している。全体の中で生かされている日本人に対して、「私」を中心に生きていく欧米の文化とは相いれないものがあると思っている。

グローバル化が叫ばれば叫ばれるほど日本が埋没し、同化していくだけで、日本語に翻訳して土着化し、あらゆる文化を日本独自のものに開発してきた編集の力、それが日本の一番の武器であつたはず。

このまま行くと日本がいつの間にか無くなってしまふのではないかとこの危機感を強く持っている。是非、日本を守る地方を守る視点でお願いしたい。

▼岸田文雄 政務調査会長

①福井県連からの豪雪とインフラ整備について。

豪雪被害については改めてお見舞いを申し上げながら除雪費について通常の予算に加えて予備費の支出を政府としても決めた。雪が完全に融けたあとでないとほつきりしない被害もある。引き続き財政的な支援等をしつかりと、現状を注視しながら対応を考えて行かなければならぬと思う。

その上で国道8号線について25年間4車線にしようとする要求しているにもかかわらず現時点で実現していないのご指摘があった。ご指摘を受け止めながら基本的にはこの厳しい財政の中でインフラ整備をどう進めていくかという問題があるが、異常気象の中で新たな防災の観点から従来のインフラ整備に上乘せる形で整備の努力をした。

わが国が国際社会で生きていくためにどうあるべきかという観点は大変重要なことだが、わが国自身のしかりとした足元を考え方があってこそ、グローバル化は評価され結果につながる。ことだと思ふ。

②グローバル化、教育、農業のバランスについて。

現在、衆院農林水産委員会筆頭理事を務めさせて頂いているが、野党の方から種子法の復活法あるいは種苗法改正法を出そうということであり、これは誤解を招くようなことであるので少し説明しておかなければならない。

③種子法について。

種子法が廃止されても全く問題がない。種子法は昭和25年に米と麦と大豆を増産しようということ各都道府県に奨励品種として指定することを定めたもの。原種や原原種の保存は国の方でしっかりとやって参るし、外国に乗っ取られることもない。

私も外務大臣をやっている際に国際社会の議論の中で自らが評価されるというのは、自らのありようを自分の言葉でしっかりと話すことができるかどうかということが基本だということ。をたびたび痛感した。

皆様には誤解があると思うので、野村哲郎党農林部会長と相談して各都道府県連に種子法の廃止は問題ないということの手引き・説明書をこれから送らせて頂きたいと思っておりますのでぜひご理解頂きたい。



「福井の齊藤」の質問に答える岸田政務調査会長。グローバル化の重要性とともに、わが国自身のありよう、国内産業、教育のありようなどの大切さをしっかりと考えながらバランスを図っていくという考え方が重要だ。

# 自民党福井県支部連合会 中央要請

## 国道8号線、4車線化 早期整備を

自民党福井県連は、3月30日、平成30年2月の大雪被害に対する支援を求める要望について、中央要請を行いました。

(党本部)

二階幹事長

竹下総務会長

(省庁)

国土交通省 石井大臣

農林水産省 斉藤大臣

①国道8号線の4車線化の早期実現、通行困難区域の除雪・融雪対策。

②北陸自動車道や国道8号線をはじめとする県内幹

線道路における道路管理者の相互連携の強化。

③損壊した農業用ハウスの撤去および再整備の支援。

県や市町が行う農業振興事業に対する十分な支援。

※ 後日、安倍総理より、福井県連と会いたいという連絡を頂いた。



自民党本部 二階幹事長、林幹雄幹事長代理、武田良太副幹事長への要請



石井啓一 国土交通大臣への要請



自民党本部 竹下亘総務会長への要請



斉藤健 農林水産大臣への要請

# 教育現場からの手紙Ⅱ

齊藤さま

ご無沙汰しております。

ホットライン最新号拝見致しました。鳥飼久美子先生を招かれての研修会、私も「ニュースで英会話」のファンですので、羨ましい限りです。

英検の高校入試加算については、少なくとも私の学校の校長は異議を唱えておりました。が、校長会の校長先生方も、人事権を握る県教委に表だって異議を唱えることは出来ないということでしょうか。残念です。

しかし、少しでも中学校現場の混乱、県教委の明らかな失策、県民の血税の間違った使い方にスポットライトが当たれば幸いです。

## 1、教員の多忙化について

貴殿が「池田中の事案の背景に、教員の多忙化がある。」と発言されたのを新聞紙面で拝見致しました。私も、担任や副担任の先生がクローズアップされていますが、教員の余裕の無い勤務実態こそ、根本的要因であり、これが解決しない限り、再発防止策にはならないと考えます。

①「本務である授業の準備に十分な時間がまったくとれない。」

これは、私が教員になって一番驚いたことです。

一日の教員の中心はもちろん教科指導(授業)ですが、その他にも、担任業務、生徒指導、進路指導、登下校指導、保護者対応、授業終了後の四時半頃から勤務部活動の指導、そして様々な校務(学校内の業務、会計、学校行事、清掃指導、給食指導、生徒会学習、PTA関連業務、それに加えて週休日も祝日も部活動の指導……)。

つまり、毎日の授業の準備は、勤務時間外にせざる得ないのが当たり前の勤務実態なのです。「授業が教師の命!」「授業で生徒を満足させるように!」など、管理職の先生方は事あるごとにおっしゃいます。しかし、良い授業をするためには、相応の準備が必要なのです。現状のままでは、肝心の教材研究や授業準備もままなりませんし、蓄積した疲労で授業のパフォーマンスも落ちる一方です。

## ②ますます増える現場負担

これまで学校現場には、「地域に開かれた学校を」「生きる力を」「基礎基本の定着を」「グローバル教育を」「〇〇文字学を」「アクティブラーニングを」とそのときどきの教育トレンドを次々と課されてきました。

「選択と集中」「スクラップ&ビルド」という言葉がありますが、教育行政は、まさに「ビルド&ビルド」の世界で、「何か1つ新たな事をするなら、今までやっていたことを1つ止める」という発想が全くもってありません。次から次に「あれやれ、これやれ」です。

来年度からは、道徳が教科化され、道徳教育が評価基準(記述式)に入ります。担任の先生方にとっては、また1つ大きな負担が増え、特に学期末はさらに大変になるでしょう。

さらに、次期学習指導要領の「主体的、対話的で深い学び」に向けて、各教科では更なる授業改善の時間が必要となります。こんな状況で県教委は、「池田町の問題を謙虚に反省材料とし、1つ1つ指導をしつかりし、子供たちに

気配り目配りしながら丁寧な教育をする必要がある」と述べています。いったい、一人の教員にどれだけの役割を背負わせれば気が済むのでしょうか?!

すでに空気が漏れ出しているボールに、更に空気を詰め込むような事をしていては、何の効果も見込めません。教員はますます多忙になり、結局は、そのしわ寄せが子どもたちに行くのです。

※教員の働き方改革の中心となるべき、教頭先生も当たり前のように月100時間近くサービスクラス業しているのが実態です。

## ③教員の業務の抜本的な改革を!

教育行政では、何か問題が起きると、すぐ、「〇〇対策会議」「〇〇連絡会」と新たな会議を設置します。対外的に「やっています感」をアピールしたいのは分かりますが、これが結局は、現場教員の時間を奪い、新たな仕事を増やしていることがなぜ分からないのでしょうか???

教員の現在の仕事を改めて検証し、教員を本来の職務「充実した授業ができ、担任として、しっかりと子どもたちと向き合うこと」に注力できる「勤務環境に戻すこと」が一番の解決策なのです!

これ以外の仕事は、思い切って止めるか、補助員に任せられるか、外部化しましょう。

今年度に入って、行政が一斉退席デーを設定したり、管理職の方が、「早く帰りましょう!」と頻りに呼びかけるようになりました。しかし、仕事が増え続けている中、このような個人の処理能力頼みのやり方では、効果は限定的です、結局、持ち帰り仕事が増えるだけです。(後略)

▼教育現場の生の声をお届けいただき、有難うございました。鳥飼久美子先生からは、新刊の「英語教育の危機」が送られて来ました。福井県の英検高校入試問題にも触れられており、私の記事もあります。

鳥飼先生が投げやりになる気持ちがよくわかります。この国の教育は英語教育で劣化するように思えます。

さて、12月議会では、池田中の事件を受け、県議会は「福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書」を採択しました。

提案理由の説明に当たって、冒頭に貴殿から頂戴した教育現場の生の声をお伝えし、全体で学校現

## 「福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書」を採択

場が抱える課題を胸中しました。

その上で、以下の提案理由の説明を行いました。

### ▼提案理由

第三者委員会がまとめた報告書には、「担任、副担任から立って続けに強い叱責を受けた」ことにより、生徒が逃げ場を失い、追い詰められていく状況が詳細につづられており、遺族が「教師によるいじめ」と表現するように、池田中の問題は、教師の行き過ぎた指導が見過(みすご)されてきたことが第一の要因ですが、報告書によると、生徒の自殺後に学校が開いた原因を検討する職員会議で、担任や副担任による叱責や執拗な指導を問題視する指摘は出ず、担任は調査委員の聞き取りに「指導すればできると判断していた」と説明。調査委員は「教員間で大声での叱責を問題視しない傾向がうかがわれる」と、過剰な叱責が「慣行化」していることを指摘しています。

山間地の人口三千人に満たない池田町は、小中学校が一枚ずつあるだけで学習塾はなく、そんな環境でも、全国学力テストでトップクラスを維持する教育県の中で上位の成績を上げてきたものであり、調査委員は会見で「一人一人の子どものしつかりと理解をしていくことが大切」と繰り返し述べた。それができなかった背景に、現場では「学力至上主義」の中で厳しい指導が当然視されていた可能性も浮かびます。

教育評論家によれば、「学校は、えてして外界と隔絶された閉鎖的な空間になりやすい。その中では、人間関係やいじめに悩む子供が唯一頼れる大人が教員だ。ところが池田中のケースでは、その教員こそが自殺の原因になるという最悪の事態を招いてしまった。

「指導死」とは簡単に言うと、生徒指導によって子供が精神的あるいは肉体的に追い詰められて自殺すること、自殺の原因が「指導そのもの」や「指導をきっかけとしたもの」と想定できるものであり、今回の件は、もはや「指導」という名の教師によるいじめに他



鳥飼久美子 英語教育の危機 CHIKUMA SHINGO

### 福井県の教育行政の根本的見直しを求める意見書

本年3月、池田中学校で起きた中二男子生徒が校舎3階から飛び降り自殺するという痛ましい事件については、教員の指導が適切でなかったことが原因との調査報告がなされた。これを受け、文部科学省から再発防止に向けた取組みを求める通知が出されるなど、全国的にも重く受け止められており、福井県の公教育のあり方そのものが問われている事態であると考えます。

本来、教員は子どもたち一人ひとりに向き合い、みんなが楽しく学ぶことができる学校づくりを推進する意欲を持っているはずであるが、最長月200時間を超える超過勤務があるなど、教員の勤務実態は依然として多忙である。

池田中学校の事件について、学校の対応が問題とされた背景には、学力を求めるあまりの業務多忙もしくは教育目的を取り違えることにより、教員が子どもたちに適切に対応する精神的なゆとりを失っている状況があったのではないかと懸念するものである。

このような状況は池田町だけにとどまらず、「学力日本一」を維持することが本県全域において教育現場に無言のプレッシャーを与え、教員、生徒双方のストレスの要因となっていると考えます。

これでは、多様化する子どもたちの特性に合わせた教育は困難と言わざるを得ない。

日本一であり続けることが目的化し、本来の公教育のあるべき姿が見失われてきたのではないかと検証する必要がある。

国においても、主体的に学ぶ力や感性を重視する教育課程の改善等が議論されている今、学力日本一の福井県であるからこそ、率先して新たな教育の方向性を示すべきであり、いたましい事件の根本の背景をとらえた上で、命を守ることを最優先とし「いま日本に必要な教育」「真の教育のあり方」を再考し、今後二度とこのような事件を起こさないために、下記の点について、福井県の教育行政のあり方を根本的に見直すよう求めるものである。

#### 記

- 1 義務教育課程においては、発達の段階に応じて、子どもたちが自ら学ぶ楽しさを知り、人生を生き抜いていくために必要な力を身につけることが目的であることを再確認し、過度の学力偏重は避けること。
- 2 知事の定める教育大綱は本県全体の教育行政の指針であるが、その基本理念実現のための具体的方策までを教育現場に一律に強制し、現場の負担感や硬直化を招くことがないよう改めること。
- 3 教員の多忙化を解消し、教育現場に余裕をもたせるため、現場の多くの教員の声に真摯に耳を傾け、本来の教育課程に上乗せして実施する本県独自の学力テスト等の取り組みを学校裁量に任せることや、部活動指導の軽減化を進めるなどの見直しを図ること。
- 4 感情面の不安定さなど発達障害傾向の子どもが増えていることを踏まえ、医療・福祉分野との連携、家庭との連携や、教員や養護教諭に対する研修時間の確保など、学校での生徒理解(カウンセリングマインド)の徹底を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年12月18日

福井県議会

ならないのではないかと懸念するものである。背景には「教員が抱えるストレスがある」。

全国学力テストでトップクラスに位置する教育県の福井にあって、池田中は上位を維持していた。手厚い補習授業が行われ、教職員は休日出動も厭わなかった。

「過剰な労働を強いられてストレスがたまった教員が、明らかに範囲を逸脱した厳しい指導に走ってしまう。そうして、子供を自殺へと追いやってしまう。さ

らに言えば、教員からの行きすぎた指導は、今度は子供たちをストレスにさらし、非行やいじめといった別の問題を引き起こす。そういった意味では、指導死といじめは密接な関連がある」と指摘しています。

福井県における学力日本一の内実は、学力テストの点数や英検や有名大学への合格者数など数値目標を追うようなものになってはまいか、これからの時代は、誰もが経験したことのない地球環境問題や少子高齢化

人口減少社会に対応しなければならぬ大変な時代です。その時代を切り開き、その中で生き抜かねばならないのは、子どもたち自身であります。ならば、問題意識をもたせ、多様なものの見方や考え方、生き方を学び、自ら考え行動できる強く育てることこそ時代の要請といえます。

その意味で、目先の数値目標を追う学力日本一ではなく、時代を切り開き、ふるさとを担う人間づくりを目標とした教育日本一の新たな指針をめざすべきと考えます。今議会では、教育問題について、多くの議員から、指摘、改善要望など意見が出されましたが、知事、教育長の答弁は、教員の資質を問題視する範疇に止まり、教育のあり方そのものを問い直す姿勢が見えませんでした。

答弁中に頻りに登場する教育長会議や校長会ですが、実態は「お上のお達しを拝聴する会」になっではないまいか、県教委と学校現場の間には暗くて深い川が流れるが

如く、そのかい離は非常に大きいことを認識される必要があります。▼異例の年2回にわたる県教委への意見書決議 「英検見直しを求める意見書」に続いての県教委への意見書決議となりました。

民間試験の「英検」取得者に最大15点加算し、英語だけ115点満点にする平成29年度高校入試制度について、多くの問題があり、見直し決議を行いました。29年度は100点の範囲内としましたが、30年度は基本は内申書評価だけ(許容範囲は3 これらが教員の多忙化に拍車をかけており、一人ひとりの生徒に向き合う時間が奪われています。

小松空港国際化議員連盟

香港・タイ定期便就航をめざして

昨年、発足した福井県議会小松空港国際化推進議員連盟は、小松空港国際化推進石川議員連盟と合同で、タイ・香港訪問団(団長・福村石川会長、副団長・齊藤福井会長)を結成し、小松空港への直行定期便就航を要請してきました。

小松空港の定期便は台北、ソウル、上海があり、国際線利用者数は、昨年度19万人を超え、年々かなりの勢いで増えており、いずれは100万人の万台をめざしていますが、当面はタイと香港に定期便を飛ばすことに焦点を絞り、対応してきています。

その後、香港に移動し、15日は、香港日本総領事館、キャセイパシフィック航空、香港エクスプレスを訪問しました。また、16日は、旅行代理店のEGLツアーズとパッケージツアーを訪問しました。

昨年、発足した福井県議会小松空港国際化推進議員連盟は、小松空港国際化推進石川議員連盟と合同で、タイ・香港訪問団(団長・福村石川会長、副団長・齊藤福井会長)を結成し、小松空港への直行定期便就航を要請してきました。

福井県出身の松田大使が香港総領事館におられ、「自分が香港にいる間に定期便の道筋を



タイ観光庁サンティ副総裁

タイ 11月12日結団式を行い、仁川国際空港経由で、バンコクに到着し、タイ国政府観光庁、タイ国際空港を訪問しました。



タイ航空ブライアン副社長

皆さんへの可能性を確認したい、可能性は大いにありと思うが、収益性を精査させてもらいたい。

2017年は既に5・8%増で、150万人の万台を突破する。一方、タイから日本への観光客は90万人、前年比13%増と急速に伸びている。この背景には、日本政府がタイへのビザの免除を決定したことによる。

松田 邦紀 大使兼総領事 薬丸 裕 日本政府観光局 JNTO香港所長 中井 邦尚 日本貿易振興機構(JETRO)香港次長 久米 清香 領事

2016年の香港と日本の交流人口は、香港から日本へは過去最高の184万人、日本から香港は少し減っていたが、ここにきて底を打ち109万人となった。今年はこのまま

タイ国際航空ITGのブライアン副社長は、2018年2月にチャーター便を2便用意している。チャーターの業績により需要を見極めて、定

香港の方は日本への関心が高く、北は北海道、南は九州・沖縄まで訪れてもらっているが、これまで訪れていない地域に対する香港の方の関心が高まっている。この機会を逃すことなく、たくさんの方の魅力がありながら、これまでに紹介しきれない北陸地方を、観光誘致の重点的テーマに取り上げてきている。特にJNTOでは、相当力を入れて香港で宣伝をしている。

皆さんへの可能性を確認したい、可能性は大いにありと思うが、収益性を精査させてもらいたい。

松田 邦紀 大使兼総領事 薬丸 裕 日本政府観光局 JNTO香港所長 中井 邦尚 日本貿易振興機構(JETRO)香港次長 久米 清香 領事

現時点で直行便がない地域は、北陸地方と東北地方。我々としては、直行便がない地域を一日でも早くなくすというところで、香港の航空会社に働きかけている。

松田大使は最近、大規模なリストラを断行。キャセイパシフィックと



松田大使は最近、大規模なリストラを断行。キャセイパシフィックと

8番らーめん サイアムセンター店



石川県の企業である8番らーめんは、創立50周年になるが、タイでは1992年に1号店をオープンし、今年で25周年となる。先週120店舗目がオープンし、年内に2〜3店舗がオープン予定。120店舗の集客は、月100万人超。ちなみに人気メニューは、トムヤムクンラーメンが第一位、第二位はざるラーメン。塩ラーメンや野菜ラーメンは、タイでは、自然のものです。料理とは思われず、メニューにはない。

皆さんのご尽力と働きかけもあり、2017年は北陸と東北に定期チャーター便が運航している。次は一日も早い定期便の運航に近づきたいと考えており、そのためには香港の各航空会社、特にチャーター便を運航しているキャセイには、さらに強い働きかけをしたいと思っています。

小松空港の経済圏、交通圏には、石川・福井はもちろんのこと、富山、岐阜、そして滋賀県の一部も含まれる。さらなるアピールの材料に活用できればと考えている。

松田大使は最近、大規模なリストラを断行。キャセイパシフィックと

松田大使は最近、大規模なリストラを断行。キャセイパシフィックと



香港日本総領事 松田大使

小松空港は香港人にとっても知られた空港であり、今後ももっと多くの香港人

【キャセイパシフィック航空】(相手方) ラビニア・ラウ 企画部長 ジャスミン・フイ 路線計画 チーフ

を北陸に送ることができたらいい。  
 ・今年4月からチャーター便を運航できて非常に嬉しく思っている。春の22便は、立山黒部のシーズンに合わせたものだが、非常に好評であったため増便したい。来春のチャーター便の計画についてはすでに取り組んでおり、今年の22便から26便への増便を考えている。

・皆さんは定期便就航を願っているが、キャセイとしてはまずチャーター便を成功させることで、これからも良い関係を築き、多くの香港人を送客できると考えている。  
 ・定期便就航には人員や香港空港の発着枠の不足といった制限がある。

のため、必ずできるという言い切れないが、これからは積極的に検討したい。定期便に対する我々の思いは皆さんと同じである。

・これから成功に向けて皆さんの力が必要である。協力と指導をお願いする。  
 ◎ラビニア企画部長  
 ・来年春のチャーター便は26便で決定。機材の大型化も前向きに検討している。定期便につ



いては、人員や香港空港の発着枠の不足という課題があるため、まだ時間がかかるだろう。  
 【香港エクスプレス航空本社】  
 (相手方) ジョナサン・ハット  
 営業部長 マイ  
 マーケティングマネージャー

ケル・リム  
 ネージャー  
 ジミー・タン 戦略・規制マネージャー

◎ジョナサン営業部長

・東京に就航するにも時間がかかったことを考えると、北陸や小松に問題があるということではなく、新規就航にはリスクがともなうため、収益性の確保をはじめ、人員や機材、香港空港の発着枠の不足など課題を解消するまでは、定期便の新規就航は難しい。収益性や事業の継続性がないとビジネスとして難しい。

【EGLツアーズ】

(相手方) 袁文英 社長  
 濱木 由美 マネージャー  
 ケンタ・ラン マネージャー

◎福村団長



袁社長のおかげで、昨年約束したチャーター便は、計31便で搭乗率は90%を超え、約1万人に來県していただき嬉しく思っている。  
 昨日キャセイを訪問したが、非常に喜んでおり、来年はさらに増便したい、できれば機材の大型化をしたいと話があった。  
 ただ、増便・大型化しても、客が乗らないと実績にならないため、袁社長

にかかっている。90%以上の搭乗率となるよう協力をお願いしたい。  
 ・プログラムチャーターを通常やつてもらえると定期便になる。一日も早く定期便として就航できると、石川県の観光大使である袁社長のお力を借りたい。  
 ◎袁社長  
 ・弊社訪問いただき光栄に思っている。今年はキャセイががんばって、2回に分けてチャーター便を飛ばしてもらった。  
 2018年は、キャセイは大型機を飛ばす予定で、すでに各旅行会社から席が集まっています。弊社は1機あたり120〜160席の要望を出した。これにより来年は大型機になることは間違いないと思う。

・日本の為替がこのまま安定していけば、来年の集客も期待できる。香港の人口は730万人しかいないが、200万人が日本を訪れており、これは香港人の4人に1人が日本を旅行していることになる。  
 ・在香港総領事の松田大使は福井県出身ということで、必ず福井県に行くように言われている。皆さんは松田大使に感謝しないといけない。

◎福村団長  
 ・前にも一度やつてもらったが、また袁社長に来ていただき、石川・福井の観光関係者を集めて講演していただきたい。

◎袁社長  
 ・12月に福井県で講演する。

【パッケージツアーズ本社】



当日の香港新聞朝刊に、訪問団を熱烈歓迎する記事が掲載された

東尋坊など福井県の紹介記事を掲載し、ツアー募集する袁社長

(相手方) フランキー袁社長  
 ◎フランキー袁社長  
 ・来年4月から6月のチャーター便に合わせて、旅行商品を企画中である。おそらく来年2月くらいには固まると思う。  
 そちらからも力を貸してほしい。

タイも香港も、新しい就航地を探しているということで、東北が北陸しかないことは、ある意味チャンスであると思う。

特に香港のキャセイは、来年の春だけで26便に増やし、しかも大型化するということであつたし、EGLツアーズの袁社長も言っていたように、キャセイがここまで踏み切ったということは予想していなかったことで、このチャンスを生かして、次行くときは定期便化を実現できるように頑張りたいと思っている。

そういう意味では一段階上がったなど、次のステップが極めて大事になると思っており、早く次のステップを踏めるように、これからも努力していきたいと思う。

▼福井県団長として、精一杯、福井県の観光セールスを行ってきました。全国最下位の外国人観光客なので、伸び台は十分にあると手ごたえを感じました。



キャセイパシフィック航空本社  
 チャーター便増便と大型化を約束するラビニア企画部長



雪の進軍

作詞作曲 永井建子

雪の進軍 氷を踏んで  
 何處が河やら 道さへ知れず  
 馬は斃れる 捨ててもおけず  
 此處は何處ぞ 皆敵の國  
 儘よ大膽 一服やれば  
 頼み少なや 煙草が二本  
 焼かぬ乾魚に 半煮え飯に  
 なまじ生命の ある其の内は  
 堪へ切れない 寒さの焚火  
 煙い筈だよ 生木が燻る  
 濼い顔して 功名話  
 「料」と云ふのは 梅干一つ

着のみのまま 氣樂な臥所  
 背囊枕に 外套かぶりや  
 背の温みで雪融けかかる  
 夜具の黍殻 シツポリ濡れて  
 結びかねたる 露營の夢を  
 月は冷たく顔覗きこむ

命捧げて 出てきた身ゆゑ  
 死ぬる覺悟で 突喊すれど  
 武運拙なく 討ち死にせねば  
 義理に絡めた 恤兵眞縣  
 そろりそろりと 首締めかゝる  
 どうせ生かして 還さぬ積もり

一九〇二年(明治35年)1月、八甲田雪中行軍訓練への参加者210名中199名が死亡するという近代の登山史における世界最大級の山岳遭難事故があった。

この実話を元にした新田次郎の小説が原作となつて映画化されたのが、1977年の『八甲田山』。

高倉健(弘前歩兵第31連隊 徳島大尉)や北大路欣也(青森歩兵第5連隊 神田大尉)といった名優が演じた。

「雪の進軍」は、映画の劇中歌となつていて、高倉健(徳島大尉)率いる部隊が、無事に下山し、晴れ間の中を行進するときに、「軍歌、雪の進軍、はじめ」と命令し、皆が歌つた明るい歌だ。(記憶が正しければ…)

山の麓を見ても援軍来たらぬ時は、勇者一人立つとき最も強し。

空は落ちてこない。山より大きい猪は出てこない。勇氣を振り絞り、腹に晒しを巻いて、懐にドスを忍ばせ、行くのが任侠道なら、片手にスコップを持って、足元は、

足の指を油紙で巻き、唐辛子をまぶし、靴下を3枚履いて大雪原に挑むのが除雪道。

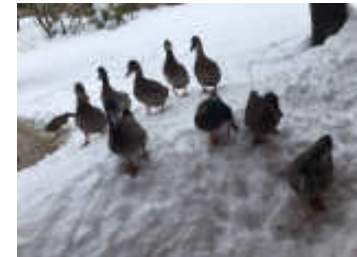
八甲田山の映画を思い出し、口に出たのが、軍歌「雪の進

# 新緑の気ままにトク

▼「雪でケンカはするな 雪は消えるがケンカは残る。」  
 雪深い大野の人たちには、味のある格言を持つている。  
 雪が降ったら、どこにもいかず、じつとしてる。  
 雪が降ってもジタバタせぬように冬籠りの準備をしつかりして、春が来るまで耐え忍ぶ、それが一番の雪対策なのかもしれない。

「大野」といえば、西郷隆盛が「赤報隊」(ならず者集団)を結成し、略奪、暴虐の限りを尽くし幕府側を挑発し、戊辰戦争を起こした時、年貢を半分にするなど触れ回った赤報隊を二セ官軍として処分する。そこで、各地で百姓一揆が起り、その中に「越前国敦賀県大野郡の百姓一揆」があったと記載されている。

三國町が石川県であったこともあり、現在の「福井県」に至る経過はいろいろあるのだから、調べてはいない。



散ればこそいとど桜はめでたけれ 憂き世になにか久しかるべき

(散るからこそ桜はいいのだ。この世に永遠のものなどない。すべてに終わりがくる。しかし、それを悲しむのではなく、終わりがあるからいいのだ。)

桜は「咲く」という現象以上に、「散る」という現象に目を向けられる不思議な花だ。そのにぎやかな盛りは短く、散り際もいさぎよい。こういった滅びの美意識は、日本の古典を貫くものである。それが外国人には不気味に感じられたりする。



▼「3月26日付 中日新聞、森友学園疑惑・自民党大会・中部6県・県連幹部の受け止め 方、福井県代表斎藤新緑議員の意見は、他県代表のおさなりでありきたりな意見とは異なり、只一人、是々非々の立場で正しいこと、駄目なことをはつきりと表明しておられ、古屋の友人からも福井県を改めて見直したと言われました。誇りに思います。益々の活躍を願うばかりです。」

役職上、取材を申し込まれたり、電話で感想を聞かれたり機会が多いが、それがどんな風に報道されるか心配がある。

知らない人から、こういった投書が来ると、「即座に安倍内閣総辞職せよ」とも書いてあるのではないかとあわてて新聞を探す。

総務教育常任委員長という立場では、池田中の生徒の自殺問題で、「福井県公教育の抜本的見直しを求める意見書」を決議したが、共鳴した赤旗日曜版の記者から取材を受け、その記事を読んだ京都の方からお手紙が届いた。

その方は、私の家の前に、疎開してきた人で、戦争から帰って来た私の父に、ヘビを焼いてもらって食べたこと、家族のように可愛がってもらったことなど記してあった。奇跡的な出会いというべきものだ。

佐藤君(共産党員)から依頼があったのでお受けしたが、どこでどんな縁を頂くかわからない。「赤旗」という縁に感謝しなければならぬ。

▼「一日にしてデブるわけではない。一日にしてやせるわけでもない。」「3万円のを服を買うより、3キロやせた方がおしやれになる。」「性格は顔に出る。生活は体に出る。」

(整骨院の張り紙にうなづく)

遅ればせながら、本年第一号お届けします。

久かたの光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ